

資料コーナー

平成十六年度平均家計収支

出典：政府広報オンライン，官報資料版平成 17 年 4 月 6 日

(<http://www.gov-online.go.jp/publicity/book/kanpo-shiryo/2005/050406/siry0406.htm>) より抜粋

総務省の家計調査報告（平成十六年度平均）をご紹介します。

家計調査報告（二人以上の世帯（農林漁家世帯を除く））

全世帯の家計

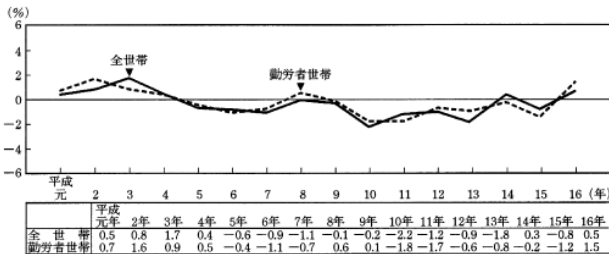
前年比でみると，全世帯の消費支出は，平成十五年には実質減少となったが，十六年は実質増加となった。内訳をみると，交通・通信，教養娯楽などが実質増加となった。（第 1 図）

勤労者世帯の家計

前年比でみると，勤労者世帯の実収入は，平成九年以来七年ぶりの実質増加となった。また，消費支出は，平成九年以来七年ぶりの実質増加となった。（第 2 表）

勤労者以外の世帯の家計

勤労者以外の世帯の消費支出は，一世帯当たり二十六万八千五百円となり，前年に比べ，名目一・〇%の減少，実質一・〇%の減少となった。



〔第 1 図〕 消費支出の対前年実質増減率の推移（全国）

〔第 1 表〕 支出の内訳（平成 16 年—全国・全世帯）

項目	金額 (円)	対前年 増減率 (%)	年 実質 増減率 (%)	実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考	
消費支出	304,203	0.5	0.5	0.5		
食料	70,116	-0.2	-1.1	-0.25	<減 少> 穀類、乳類、魚介類、野菜・海藻、肉類、果物、菓子類、調理食品、外食 <増 加> 飲料、油脂・調味料、酒類	
住居	19,474	-3.8	-3.3	-0.22	<減 少> 設備修繕・維持 <増 加> 家賃地代	3年ぶりの実質減少
光熱・水道	20,990	0.4	0.3	0.02	<増 加> 電気代、上下水道料 <減 少> 他の光熱、ガス代	4年ぶりの実質増加
家具・家事用品	9,961	-3.2	0.1	0.00	<増 加> 家事サービス、家庭用耐久財、室内装飾・装飾品 <減 少> 寝具類、家事雑貨、家事用消耗品	
被服及び履物	13,572	-2.8	-2.6	-0.12	<減 少> 生地・糸類、和服、下着類、洋服、履物類、他の被服、装飾関連サービス <増 加> ジャケット・セーター類	14年連続の実質減少
保健医療	12,215	-1.0	-1.0	-0.04	<増 加> 医薬品、保健医療用品・器具、保健医療サービス <減 少> 医薬品	6年ぶりの実質減少
交通・通信	39,272	4.7	4.9	0.61	<増 加> 自動車等関係費、通信、交通	5年連続の実質増加
教育	13,581	2.1	1.4	0.06	<増 加> 補習教育 <減 少> 教科書・学習参考教材、授業料等	
教養娯楽	31,262	3.4	4.9	0.49	<増 加> 教養娯楽用耐久財、教養娯楽サービス、教養娯楽用品 <減 少> 書籍・他の印刷物	
その他の消費支出	73,760	0.2	-	-	<増 加> 住居費、通運費 <減 少> コピー代、交際費	7年ぶりの増加

〔注〕「備考」欄のゴシック体は、5%以上の増減を表す。

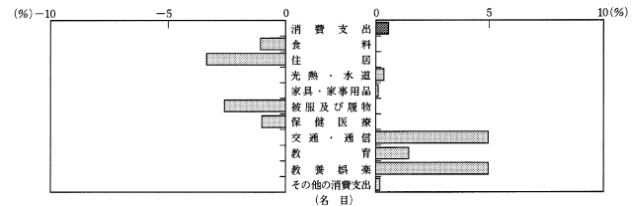
報告では光熱・水道などには着目しておりませんが，電気代が増加という傾向が見取れます。なお単身世帯につ

〔第 2 表〕 収入及び支出の内訳（平成 16 年—全国・勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年 増減率 (%)	年 実質 増減率 (%)	実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考	
実収入	530,028	1.0	1.0	1.0		
世帯主の定期収入	369,417	1.8	1.8	1.25	7年ぶりの実質増加	
臨時収入・賃手	67,199	-2.2	-2.2	-0.28	4年連続の実質減少	
配偶者の収入	55,507	4.4	4.4	0.45		
うち女性	54,921	4.3	4.3	0.43		
他の世帯員収入	8,999	0.3	0.3	0.01	6年ぶりの実質増加	
非消費支出	85,063	1.2	—	—	7年ぶりの増加	
可処分所得	444,966	1.0	1.0	—	7年ぶりの実質増加	
消費支出	330,836	1.5	1.5	1.5	7年ぶりの実質増加	
食料	72,025	0.6	-0.3	-0.07	<減 少> 穀類、魚介類など <増 加> 設備修繕・維持	
住居	20,804	-6.5	-6.0	-0.41	<減 少> 設備修繕・維持	
光熱・水道	20,909	1.0	0.9	0.05	<増 加> 電気代、上下水道料	
家具・家事用品	10,419	0.4	3.8	0.12	<増 加> 家庭用耐久財、家事サービスなど	3年ぶりの実質増加
被服及び履物	14,893	-3.6	-3.4	-0.16	<減 少> 和服、生地・糸類など	14年連続の実質減少
保健医療	11,331	0.3	0.3	0.01	<増 加> 保健医療サービス	
交通・通信	47,218	5.8	6.0	0.83	<増 加> 自動車等関係費、通信など	
教育	19,714	9.4	8.6	0.48	<増 加> 補習教育、授業料など	
教養娯楽	33,710	4.4	5.9	0.58	<増 加> 教養娯楽用耐久財、教養娯楽サービスなど	
その他の消費支出	79,613	0.8	—	—	<増 加> 住居費、通運費	7年ぶりの増加
平均消費性向(%)	74.4	(前年) 74.0	(ポイント差) 0.4			

〔注〕「備考」欄のゴシック体は、5%以上の増減を表す。

〔第 2 図〕 10 大費目の対前年実質増減率（平成 16 年—全国・全世帯）



〔第 3 表〕 財・サービス区分別支出の内訳（平成 16 年—全国・全世帯）

項目	金額 (円)	対前年 増減率 (%)	年 実質 増減率 (%)	実質増減 率への 寄与度 (%)	構成比 (%)	備 考
財・サービス支出計	261,134	0.7	0.7	0.7	100.0	
財(商品)	150,583	0.0	-0.1	-0.07	57.7	
耐久財	17,848	3.5	7.9	0.53	6.8	
半耐久財	25,118	-1.2	-0.6	-0.06	9.6	13年連続の実質減少
非耐久財	107,618	-0.3	-1.1	-0.45	41.2	
サービス	110,551	1.8	1.9	0.79	42.3	

〔注〕財・サービス支出計は、品目別を再分類して集計しており、「こづかい」、「贈与金」、「他の交際費」及び「住居費」は含まれていない。

〔第 10 表〕 単身世帯の 10 大費目別支出の内訳（平成 16 年平均—全国・全世帯）

項目	金額 (円)	対前年 増減率 (%)	年 実質 増減率 (%)	実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
消費支出	174,318	1.5	1.5	1.5	
食料	40,111	3.4	2.5	0.55	<増 加> 飲料、外食、酒類、菓子類、調理食品、果物、穀類 <減 少> 穀類、魚介類、乳類、野菜・海藻、油脂・調味料
住居	24,550	0.1	0.6	0.09	<増 加> 設備修繕・維持 <減 少> 家賃地代
光熱・水道	9,673	1.6	1.5	0.08	<増 加> 上下水道料、電気代、他の光熱 <減 少> 同水準・ガス代
家具・家事用品	4,138	-5.9	-2.7	-0.07	<減 少> 室内装飾・装飾品 <増 加> 寝具類、家庭用耐久財、家事雑貨、家事用消耗品、家事サービス
被服及び履物	8,396	9.4	9.6	0.43	<増 加> 和服、他の被服、履物類、下着類、洋服、ジャケット・セーター類、生地・糸類、装飾関連サービス
保健医療	5,985	6.9	6.9	0.22	<増 加> 保健医療用品・器具、保健医療サービス <減 少> 医薬品
交通・通信	21,862	-0.9	-0.7	-0.09	<減 少> 自動車等関係費 <増 加> 交通、通信
教育	11	—	—	—	
教養娯楽	22,559	4.8	6.3	0.79	<増 加> 教養娯楽用耐久財、教養娯楽用品、書籍・他の印刷物、教養娯楽サービス
その他の消費支出	37,832	-1.4	—	—	<減 少> 住居費 <増 加> 通運費、交際費

〔注〕 1. 「備考」欄のゴシック体は、5%以上の増減を表す。
2. 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

いては平成十六年十～十二月期平均および平成十六年度平均速報の内部で取り上げられています。

南方 英明（千葉工業大学）
（平成 17 年 6 月 10 日受付）